

# くすの木

川崎市立川崎病院の基本理念

私たちは、地域の基幹病院として、他の医療機関と連携し、「病気」でなく「病人」を診る心を大切に、安全安心で質の高い医療を、患者さまとともに考え、実践し、健康と福祉の向上を通じて地域社会の発展に貢献することを目指します。



川崎市立川崎病院  
シンボルツリー



## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

昨年の川崎市の十大ニュースのトップは、人口150万人突破だったそうですが私にとっては、川崎フロンターレのJ1リーグ初優勝が最も明るい話題でした。シルバーコレクターと言われてきたチームの21年目の快挙に心からお祝い申し上げます。

一方では、長く川崎をホームタウンにしてきたBリーグのブレイブサンダースの親会社の身売り話がでていいるのは残念な情報ですが、川崎には留まってくれるらしいので、これからも応援を続けることができそうです。スポーツにはみんなの気持ちをひとつにして、心を明るくする大きな力があると思います。私共は、自分たちの専門である、医療を通して皆様の心を少しでも明るくできるよう、この1年努めてまいります。

今年もがん診療連携指定病院として、がん診療では、診断治療に始まり、患者さんの高齢化に伴う合併症の管理、退院後の生活支援まで、診療科、コメディカル部門によるチーム医療体制で頑張っていく所存です。4月からはPET-CTが稼働予定であり、地域の皆様には、がんの治療前の広がり診断を中心に、より高度な医療を提供できるよう心がけてまいります。

本年も、皆様にとって明るい話題に満ちた一年になりますよう、祈念申し上げます。



川崎市立川崎病院  
病院長 成松 芳明



## インフルエンザにご注意を！



インフルエンザ流行シーズンに入りました。

外出時のマスクの着用と、帰宅後の手洗い・うがいを励行しましょう。

流行シーズン前の、インフルエンザワクチン接種も大切です。

室内の加湿は50%以上に保ち、睡眠・栄養・保温・休養を心がけましょう。

突然の発熱や咽頭痛、鼻汁、関節痛などがある場合は、マスクをして病院を受診しましょう。

インフルエンザと診断されたら、解熱後2～3日は外出を控えましょう。



### リハビリテーション科の役割

当院のような急性期病院では、さまざまな病気や怪我、またその治療に伴う安静や寝ている時間が増えることによって、入院前に出来ていた「立ったり歩いたり、しゃべったり食べたり、家事や身の回りの事などいつもしていた」能力が低下する危険性があります。そのような患者さんに対して、できるだけ早期にリハビリテーションを開始し能力の低下を予防しています。

また、低下した能力の回復を目標に運動、歩行練習、身の回り動作の練習、認知機能の検査や飲み込み・コミュニケーションの練習などを行っています。1人でも多くの患者さんの1日も早い自宅退院・地域生活への復帰をお手伝いすると共に、リハビリテーション専門病院や老人保健施設・特別養護老人ホームなどの施設へのスムーズな移行の為に、主治医や病棟と連携しながら様々なリハビリテーションを提供してまいります。



#### ●診療体制は

医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が各々の専門性を生かしつつ、患者さんに対しチーム医療を行っております。対象となる疾患は、当院で対応している疾患ほとんどすべてになります。

#### ●入院でリハビリテーションを受けるには？

入院後、主治医がリハビリテーションを必要と判断した場合、リハビリテーション科に診療依頼が参ります。依頼内容をリハビリテーション科医師が確認し、診察を行います。その上で各種療法が開始されます

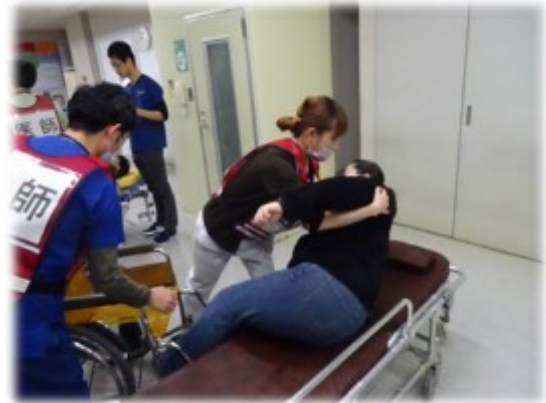
#### ●医療連携について

入院中の患者さんへのリハビリテーションを集中して行っているため、外来でのリハビリテーションは基本的には行っておりません。また、外来で必要な検査や指導・治療を行った後にはかかりつけ医に逆紹介しております。装具処方・嚥下評価・痙縮治療・筋電図検査については、当該診療科および地域医療連携室にご相談いただいた上で、予約にて対応しております。

## ✓ 災害医療訓練を実施しました

市立川崎病院は、平成10年3月に神奈川県災害拠点病院の指定を受けており、災害発生時には川崎市南部医療圏の中心的な役割を担う必要があります。そのため、災害時にはその役割を確実に発揮することができるよう、定期的に大規模な災害医療対応訓練を実施しています。

今回の訓練は平成29年12月9日（土）に、166名の職員及び関係者が参加し、「平日午前首都南部直下地震が発生し、川崎区では最大震度6強を観測」という状況を想定した上で、病院局（本庁）との連携も含めた、高度で実践的な訓練を実施しました。



## ✓ 第3回 NICU卒業生の会を開催しました

NICUを退院されたお子さまとご両親にとって、退院はゴールではなく、新しい生活のスタートとなります。お子さまとご家族が交流の場を持つことで、共に成長・発達を喜び、また、ご家族が抱えている悩みを語り合い、ほんの少し心の支えとなる機会を作れるよう「NICU卒業生の会」を企画しています。

今年は、平成29年11月4日（土）川崎病院の講堂で開催しました。14家族40名の方が参加して下さり、看護師・助産師・新生児科医師・臨床心理士・保育士と一緒に楽しい時間を過ごしました。サンタクロースの人形を作成したり、手遊び歌やパネルシアターと一緒に歌ったり、会場は笑顔で満ち溢れていました。ご両親にとっても、情報交換や、育児相談の場となり、お子さんの成長を共に喜び合える時間になりました。

NICUで日々関わってきた職員にとっても、子供たちの成長と笑顔に出会える「卒業生の会」は、何よりのクリスマスプレゼントでした。



保母さんのパネルシアター  
みんな夢中♡♪♡♡♡



第24回 市立川崎病院

入場無料 / 申込不要

# 新春コンサート開催

市立川崎病院では、入院中の患者さんに対して療養生活を送っていただく中で、少しでも心の励みになることを目的に、「新春コンサート」を開催しています。

今回のコンサートは、洗足学園音楽大学生による木管五重奏の演奏をお楽しみいただきます。

日時：平成30年1月12日（金）午後7時開演

会場：川崎市立川崎病院 1階 中央ホール

出演：洗足学園音楽大学生（木管五重奏）

曲名：エンターティナー、トトロメドレー、  
サウンドオブミュージックメドレー、  
ホールニューワールド 等



第6回

入場無料 / 申込不要



## 市民公開講座のお知らせ

川崎病院では、身近な病気に関わるテーマを専門の医師がわかりやすく解説する「市民公開講座」を開催しています。市民の皆様が気になる“様々な疾患の詳細”、“最新の治療方法”、“予防の早期発見方法”等をきめ細かくお伝えしてまいります。

開催日

2 / 金 16

テーマ 「ここまで進歩した白内障手術！」

講師：堀内 直樹先生（眼科副医長）

日程 2月16日（金）14:00～15:00

会場 川崎病院7階講堂 / 定員数120名(当日先着)



眼科副医長 堀内 直樹

〔発行元〕平成30年1月10日発行（第31号）

発行責任者：林 徳厚／編集：広報委員会

事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話：044-233-5521

<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>